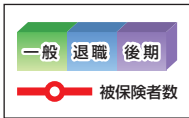
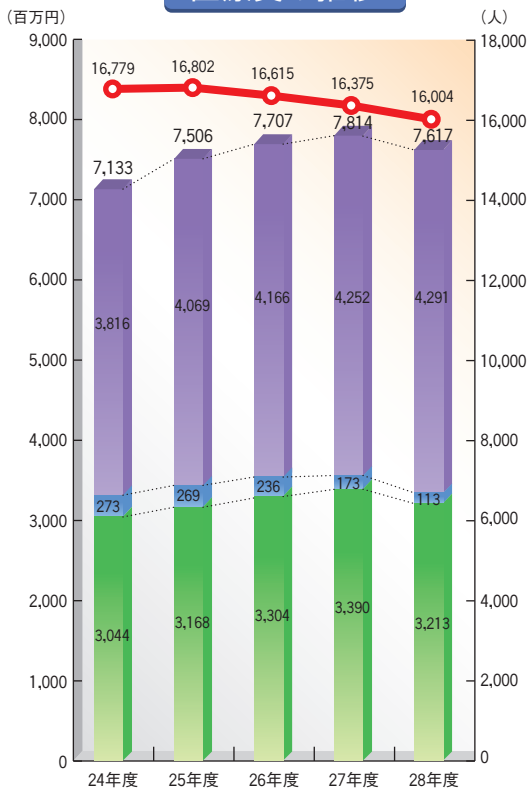


さくら市

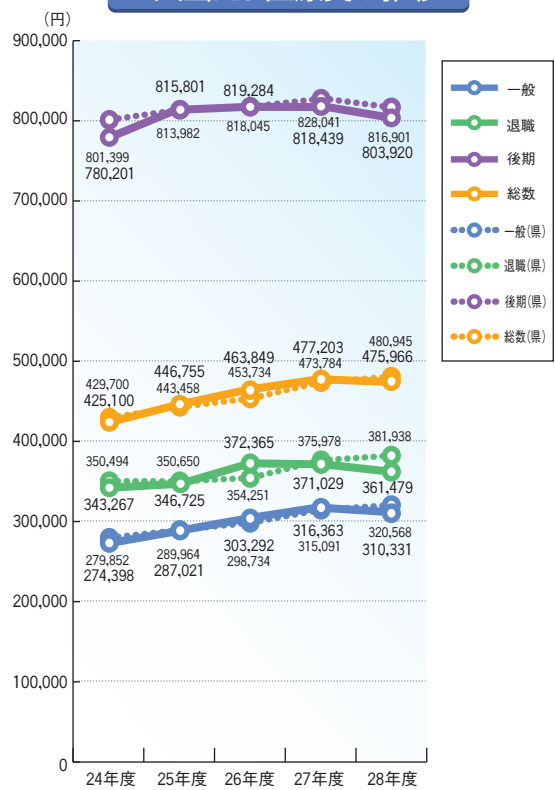
さくら市



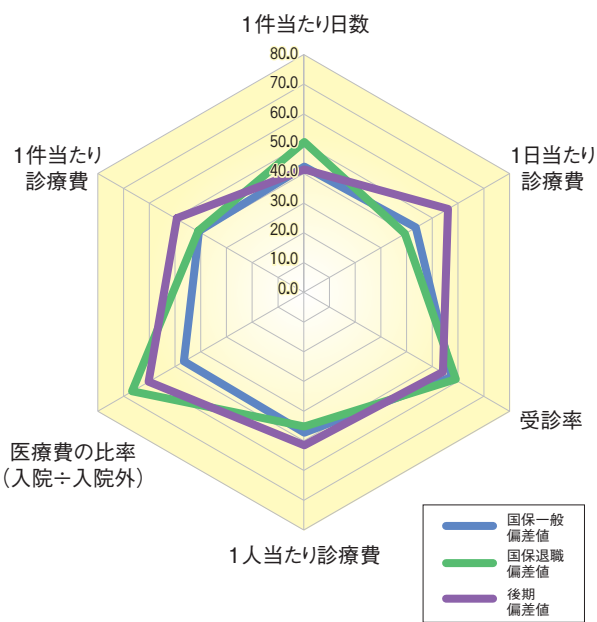
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

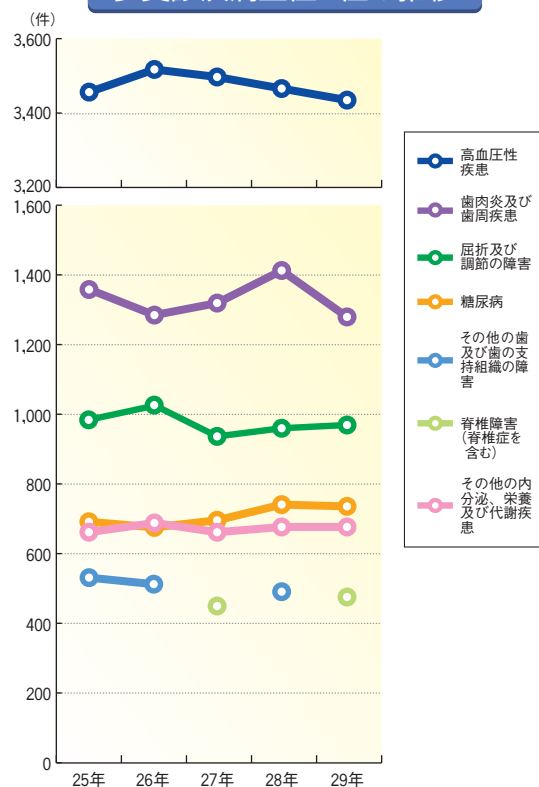


平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

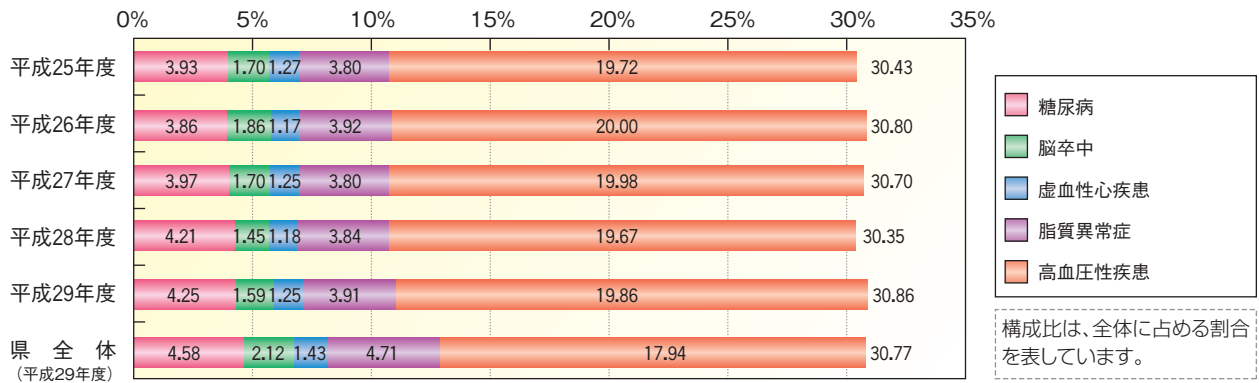


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

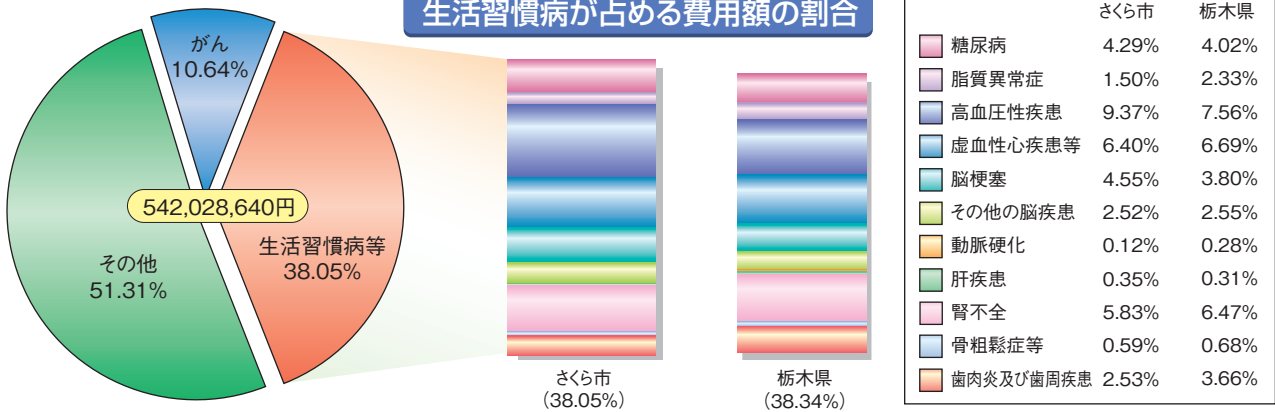
多受診疾病上位6位の推移



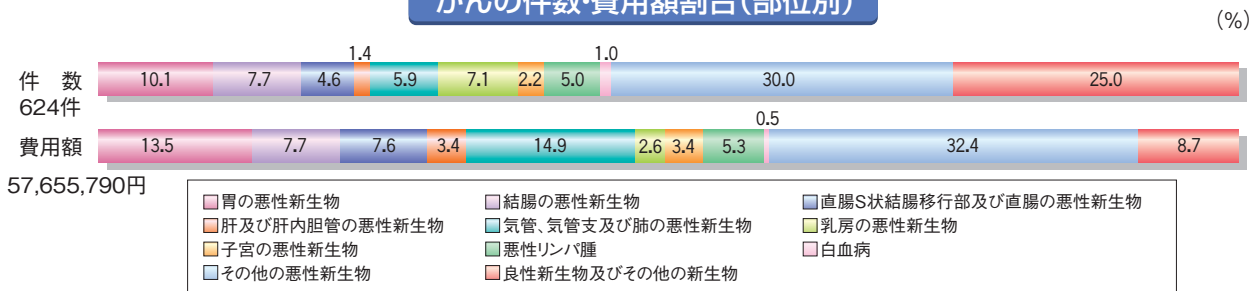
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部別別)



さくら市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般3,212,859千円(94.8%)、退職113,143千円(65.6%)、後期4,291,391千円(100.9%)で、全体では7,617,393千円(97.5%)と減少している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は16,004人で、内訳は一般10,353人、退職313人、後期5,338人である。前年度と比較すると全体で97.7%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は475,966円(1,237円減)、一般は310,331円(6,032円減)、退職は361,479円(9,550円減)、後期は803,920円(14,519円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、受診率はすべての法別において県平均を上回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位糖尿病、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、中でも6位の脊椎障害(脊椎症含む)は平成25年度と比べ件数は減少したが、費用額は1.72倍と増加している。

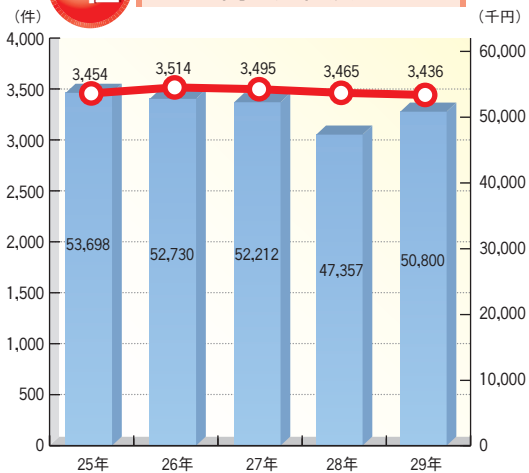
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、常に高血圧性疾患の構成比が高く、その傾向は県全体に比べ、より強く見受けられる。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が542,028,640円で、がんが10.64%、生活習慣病等が38.05%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.37%、虚血性心疾患等6.40%、腎不全5.83%となっている。

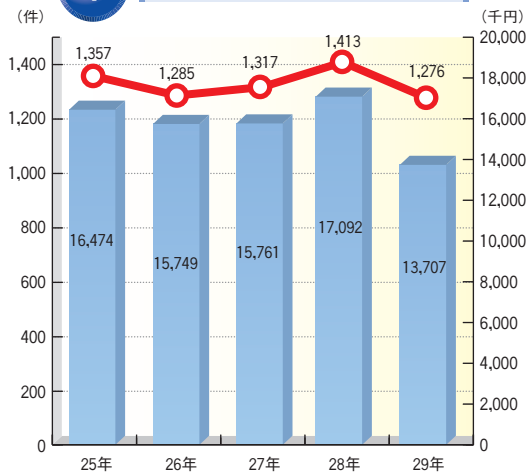
がんの部別別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

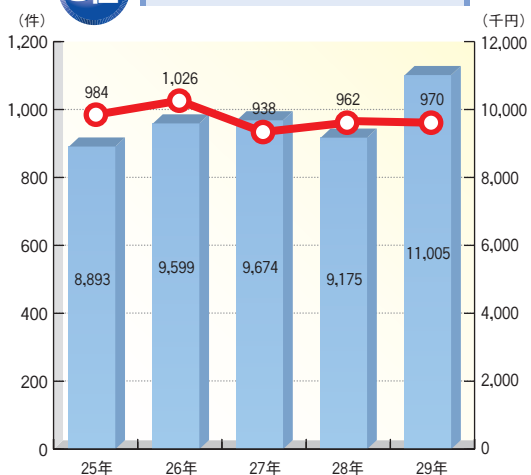
1位 高血圧性疾患



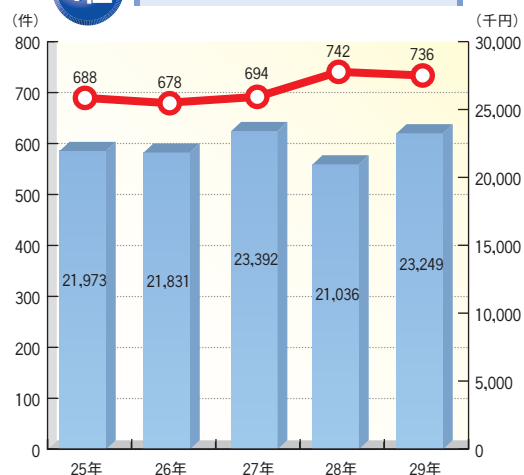
2位 歯肉炎及び歯周疾患



3位 屈折及び調節の障害



4位 糖尿病



5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位 脊椎障害(脊椎症を含む)

